

令和8年度 県政モニターアンケート 「やまなしの観光に関するアンケート調査」結果概要

1 アンケート実施概要

本県の観光振興施策を推進するにあたり、県民の意識を把握し、今後の施策の参考とするため、令和8年6月に県政モニターを対象にアンケート調査を実施した。

調査実施者	山梨県
調査対象・対象者数	山梨県 県政モニター400人
調査方法	WEB
アンケート回収数・回収率	回収数:400 回収率:100.0%

2 アンケート結果概要

I 観光全般について

- ・ 観光の推進が地域活性化につながるかについて、8割以上が「大いに」もしくは「ある程度」つながると回答。
- ・ 旅行者の来訪については、4割が「もっと」もしくは「どちらかというと」来てほしいと回答。
- ・ より多くの旅行者が来るための取り組みとして、「特産品を生かした商品開発・サービス」「自然や歴史的な観光地の保存」「公共交通の充実」が上位。
- ・ 旅行者増加や観光地化が生活環境へ及ぼす影響は、「騒音やごみなどによる生活環境悪化」が最多の4割以上を占め、「インフラ整備」「渋滞の発生による交通不便」「賑わい向上」など利点と課題が併存する結果。

II インバウンド関連について

- ・ 4割以上が訪日外国人旅行者の来訪について「今までのままでよい」と回答した一方、約3割が「どちらかというと来てほしくない」もしくは「来てほしくない」と回答。
- ・ 訪日外国人旅行者増加の影響について、4割以上が「観光消費拡大による地域活性化」を挙げ、「街がにぎやかになり経済活性化」「国際交流の進展」が続いた。
- ・ 受け入れのために必要なことは、「交通表示等の多言語対応の充実」、「外国語ができるスタッフ等の育成」「公共交通の整備」が上位。

III 旅行者への対応について

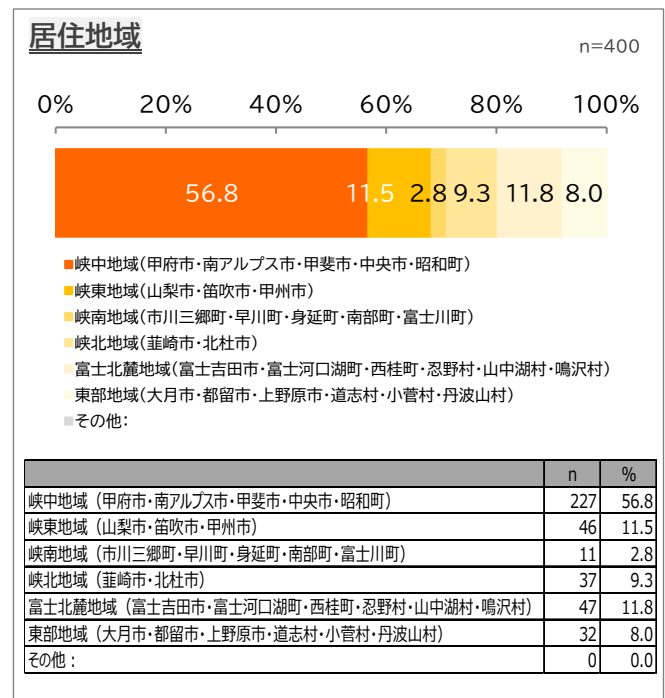
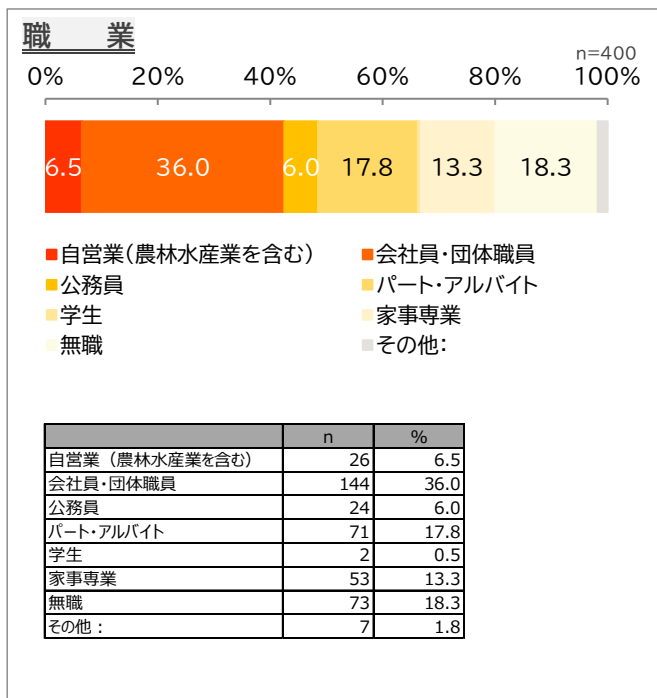
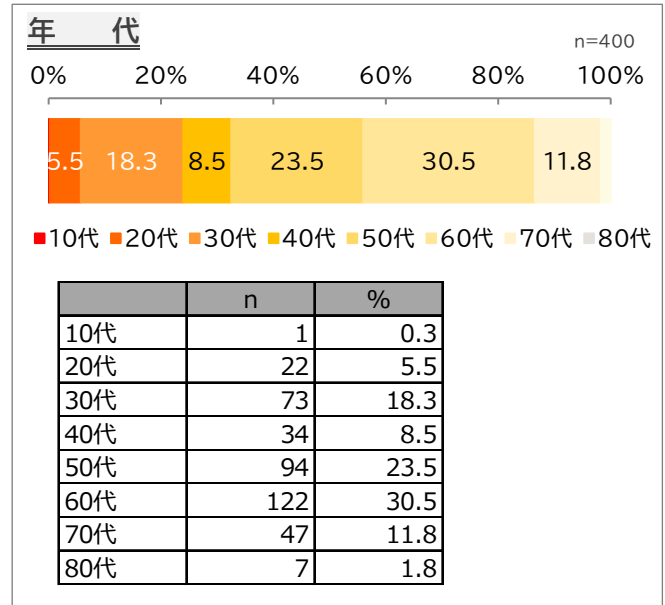
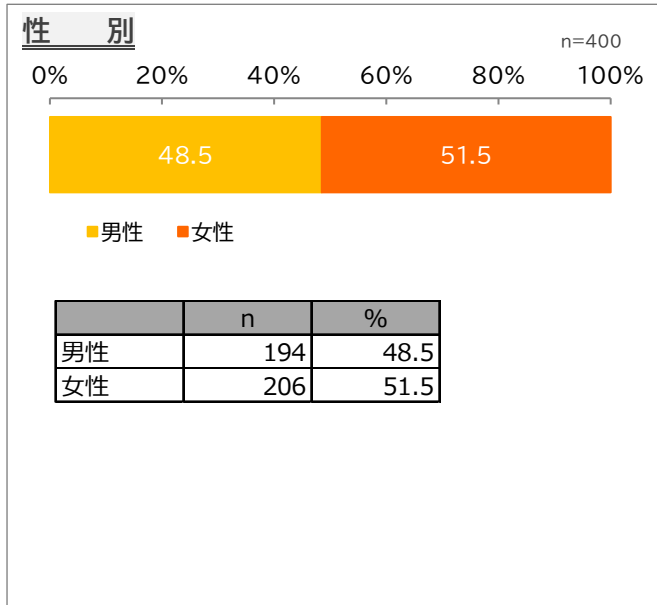
- ・ おもてなしへの意識について、「全く」もしくは「あまり」意識していないが半数超。
- ・ 旅行者との関わりへの意向は、「どちらとも言えない」が約4割で最多となり、「積極的に関わりたい」もしくは「関わりたい」との回答は3割未満。
- ・ 地域の旅行者に対するおもてなしは、「全く」もしくは「あまり」感じられないが約7割。
- ・ 観光活性化のためのおもてなしの重要性について、「とても」もしくは「多少」重要と思うが7割超。

【資料内の記号等について】

- (SA) 単一回答(Single Answer)の略。選択回答は1項目のみ。
- (MA) 複数回答(Multi Answer)の略。回答する選択肢の数に制限を設けている場合がある。
- (FA) 自由回答(Free Answer)の略。回答者の考えを自由に記入するもの。
- n 回答者数(number)を表す(「n=100」は、回答者数100人を意味する)。
 - ※ アンケート結果の数値は小数点第2位を四捨五入しており、単一回答でも合計が100%にならない場合がある。
 - ※ 複数回答の場合は合計値が100%にならない場合がある。

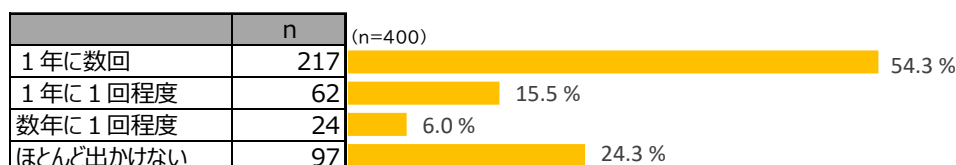
3 アンケート結果詳細

回答者属性



近年、観光旅行（日帰りを含む）に出かけたか

→ 約7割が「1年に数回」もしくは「1年に1回程度」と回答



観光関係

I 観光全般について

問1 山梨県の観光を推進することが、地域の活性化へつながると思いますか(SA)

⇒ 8割以上が「大いにつながる」もしくは「ある程度つながる」と回答

	n	(n=400)
大いにつながると思う	117	29.3 %
ある程度つながると思う	209	52.3 %
あまりつながらないと思う	28	7.0 %
つながらないと思う	10	2.5 %
わからない	35	8.8 %
その他 :	1	0.3 %

問2 お住まいの地域には、他の地域の方が訪れる観光スポットや施設がありますか(SA)

⇒ 6割以上が観光スポットや施設が「ある」と回答

	n	(n=400)
ある	259	64.8 %
ない	141	35.3 %

問3 お住まいの地域に、もっと多くの旅行者が来てほしいと思いますか(SA)

⇒ 4割以上が「今のままでよい」と回答

	n	(n=400)
もっと来てほしい	52	13.0 %
どちらかと言うと来てほしい	108	27.0 %
今までのままでよい	174	43.5 %
どちらかと言うと来てほしくない	36	9.0 %
来てほしくない	30	7.5 %

問4 どうしたらより多くの旅行者が来るようになると思いますか(MA)

※問3で「もっと来てほしい」または「どちらかというと来てほしい」を選んだ回答者への質問

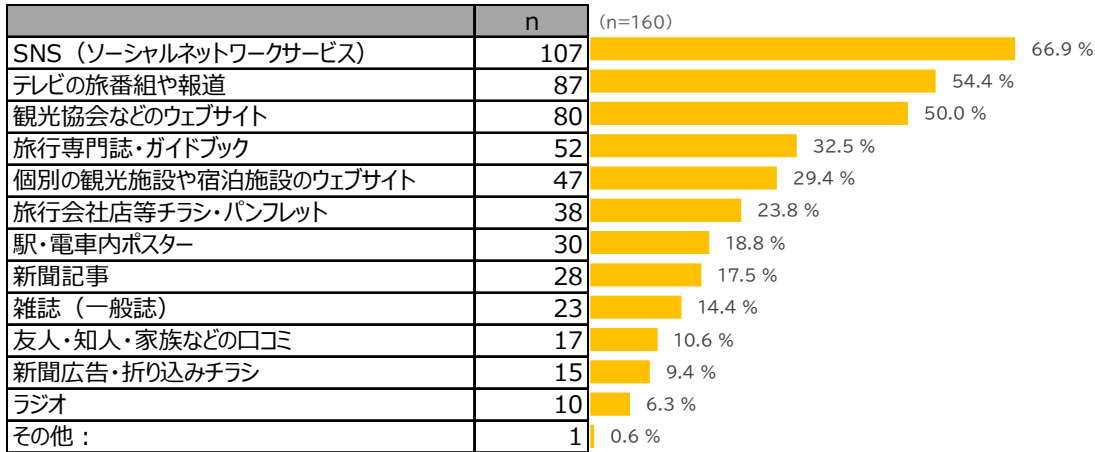
⇒ 「特産品を活かした商品開発・サービス」「自然・歴史的な観光地の保存」「公共交通の充実」などが上位

	n	(n=160)
ワインやフルーツなど、山梨ならではの特産品を活かした商品開発やサービスに取り組む	96	60.0 %
自然や歴史的な観光地の保存に取り組む	70	43.8 %
鉄道・バス・タクシーなどの公共交通を充実させる	67	41.9 %
祭りやイベントなどを開催する	52	32.5 %
観光施設や商業施設を整備する	50	31.3 %
駐車場や広い道路を整備する	50	31.3 %
美術館や博物館などの文化芸術施設の充実や創作活動の県内誘致などに取り組む	38	23.8 %
自然サウナや寺社での宿泊など、自然や歴史文化を活用した観光を推進する	35	21.9 %
フィルムコミッション（※映画やドラマなどのロケ地に選ばれるように誘致を行うこと）に取り組む	34	21.3 %
アニメやドラマなどの舞台となった場所を巡るいわゆる「聖地巡り」を促進する	34	21.3 %
サイクリングロードの整備など、スポーツツーリズムを推進する	34	21.3 %
交通渋滞に対する対策を講じる	33	20.6 %
道路や公園、施設などのバリアフリー化を促進する	32	20.0 %
高齢や障害等の有無にかかわらず誰もが安心して旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムを推進する	25	15.6 %
地元の人が集まって、観光地域づくりを考える機会をつくる	24	15.0 %
有名料理店の誘致など、ガストロノミー（美食）ツーリズムを推進する	21	13.1 %
SDGs（※国連サミットで採択された持続可能な開発目標）に沿った観光地づくりに取り組む	11	6.9 %
わからない	4	2.5 %
その他 :	1	0.6 %

問5 観光地の魅力をPRするためには、どのような方法が有効だと思いますか(MA)

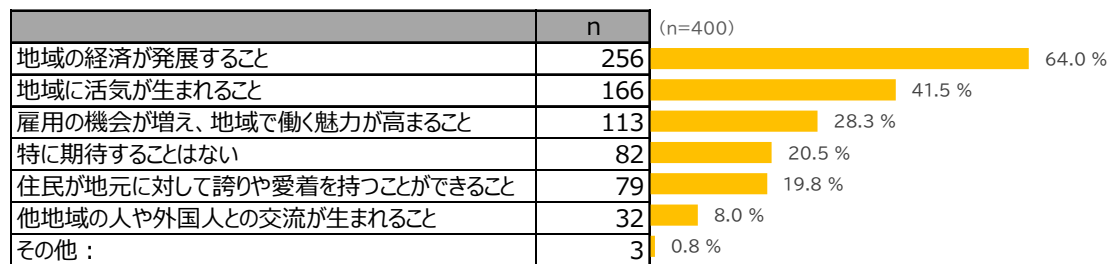
※問3で「もっと来てほしい」または「どちらかという来てほしい」を選んだ回答者への質問

→ 「SNS」「テレビの旅番組や報道」「観光協会などのウェブサイト」が上位



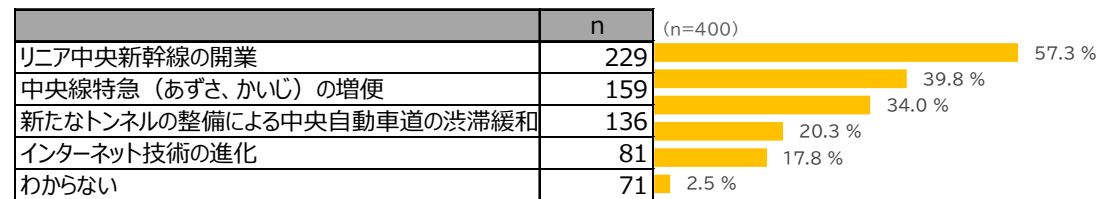
問6 旅行者が増えることにより期待することはどのようなことですか(MA)

→ 「地域の経済発展」「活気生まれる」「雇用機会増による働く魅力向上」が上位



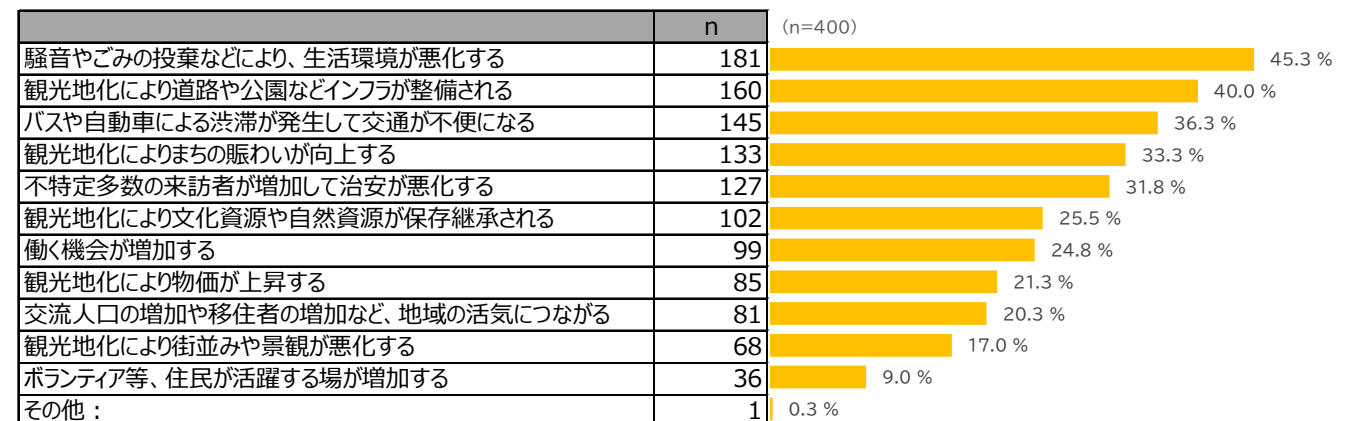
問7 今後、山梨県が観光地として発展するため、影響があると思うことはどのようなことですか(MA)

→ 「リニア開業」「あずさ、かいじの増便」「中央自動車道の新トンネル整備」が上位



問8 旅行者の増加や観光地化によって、どのような生活環境の変化があると思いますか(MA)

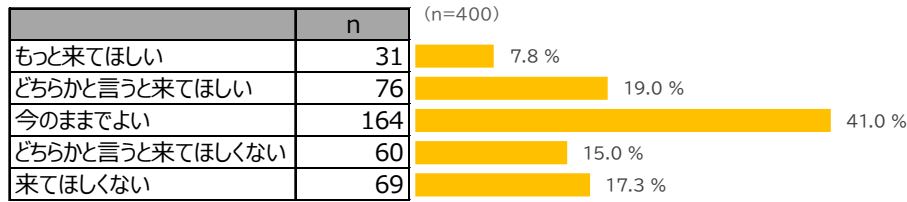
→ 「生活環境の悪化」「インフラ整備」「渋滞の発生による交通不便」が上位



II インバウンド関連について

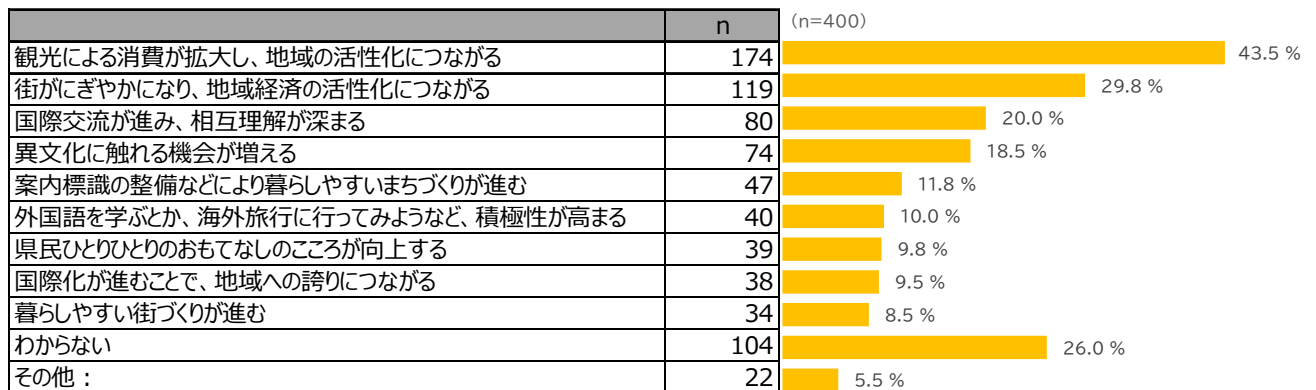
問9 お住まいの地域にもっと多くの外国人旅行者が来てほしいと思いますか(SA)

⇒ 4割以上が「今のままでよい」と回答



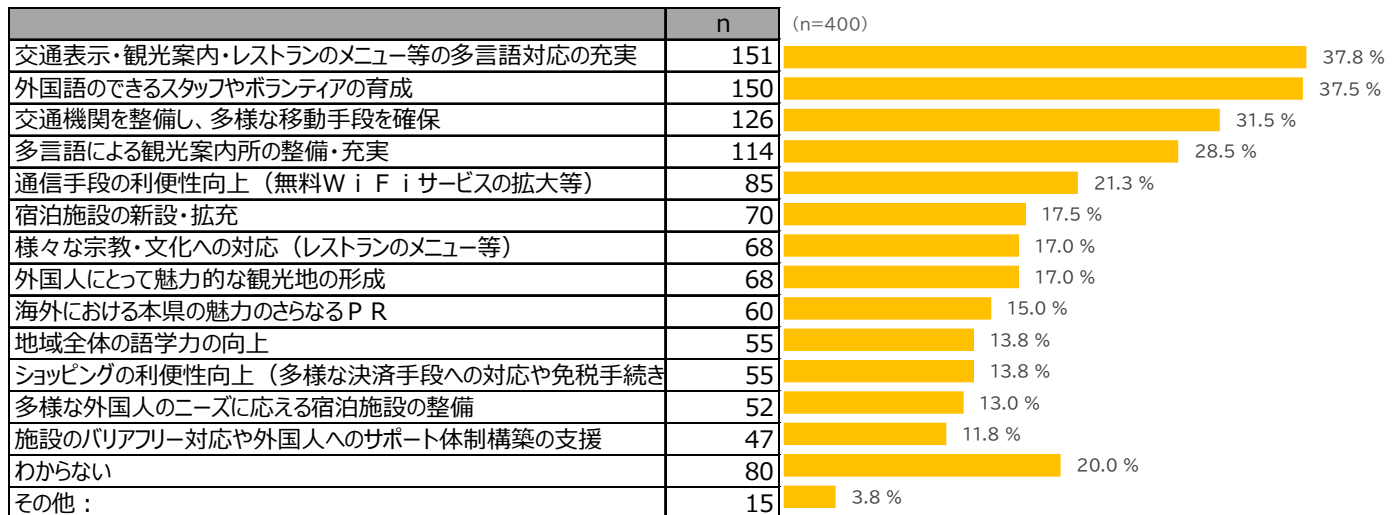
問10 訪日外国人旅行者が増加することにより、山梨県にどのような影響を与えますか(MA)

⇒ 「観光消費拡大による地域活性化」「街のにぎわいによる経済活性化」「国際交流の進展」が上位



問11 地域での観光振興を図る上で、外国人旅行者受け入れのため何が必要だと思いますか(MA)

⇒ 「交通表示等の多言語対応の充実」「外国語のできるスタッフ等の育成」「公共交通の整備」が上位



Ⅲ 旅行者への対応について

～ おもてなしのやまなし観光振興条例（平成23年12月）～

山梨県は、美しい山々に四方を囲まれ、その豊かな自然から、果物をはじめ、ワイン、ジュエリー、ミネラルウォーター、織物、印章、和紙といった、全国に誇る数多くの特産物が産み出されています。また、県内各地で伝統的な祭りや多彩な行事も行われています。

このような本県を訪れた旅行者が、やすらぎと感動を覚え、再び訪れたいと思っていただくためには、県民自らが、地域への誇りと愛着を持ってお迎えする、「山梨ならではのおもてなし」を県民総参加で行うことが必要です。

そのため、山梨県では、「おもてなしのやまなし観光振興条例」を制定し、県民一丸となって観光振興を図っていくこととしています。

問12 旅行者に、「おもてなし」の心で接するように意識していますか(SA)

➡ 半数以上が「全く意識していない」もしくは「あまり意識していない」と回答

	n	(n=400)
いつも意識している	35	8.8 %
多少意識している	134	33.5 %
あまり意識していない	159	39.8 %
全く意識していない	72	18.0 %

問13 地域を訪れる旅行者と積極的に関わりたいと思いますか(SA)

➡ 約4割が「どちらともいえない」と回答

	n	(n=400)
積極的に関わりたい	21	5.3 %
機会があれば関わりたい	93	23.3 %
どちらともいえない	153	38.3 %
あまり関わらない	75	18.8 %
関わらない	58	14.5 %

問14 旅行者とどのように関わりたいとお考えですか(MA)

※問13で「積極的に関わりたい」または「機会があれば関わりたい」を選んだ回答者への質問

➡ 「声かけや道案内」「日常の仕事や業務を通じた関わり」「地域環境の整備」が上位

	n	(n=400)
日々の生活において、出会う旅行者に積極的に声をかけたり道案内等をしてあげたい	62	54.4 %
自身の日常の仕事や業務などを通して関わっていききたい	42	36.8 %
日々の生活のなかで、地域環境の整備（清掃・植栽・景観美化等）に取り組みたい	38	33.3 %
イベントや行事、祭り等の時に、運営スタッフやボランティアとして協力したい	26	22.8 %
観光案内や様々な体験ツアーなどにおけるガイドやインストラクターなどとして旅行者と接したい	20	17.5 %
観光やまちづくりに関する団体などのメンバーとして、積極的に関わっていききたい	20	17.5 %
自身のコレクション・収蔵品・家屋などを適宜一般公開したい	2	1.8 %
その他：	0	0.0 %

問15 あなたの地域では、旅行者に対する「おもてなし」が感じられますか(SA)

➡ 約7割が「全く感じられない」もしくは「あまり感じられない」と回答

	n	(n=400)
とても感じられる	18	4.5 %
多少感じられる	120	30.0 %
あまり感じられない	213	53.3 %
全く感じられない	49	12.3 %

問16 あなたの地域では、「おもてなし」に繋がる以下の様な取り組みが行われていますか(MA3つ以内)

→ 「地域の美化」「郷土食や特産品の開発・提供」「農産物等の販売施設運営」が上位

	n	(n=400)
地域の美化（歩道清掃、花壇等）	135	33.8 %
農作物など地域の産物を利用した郷土色や特産品の開発や提供	108	27.0 %
地域の農産物などを販売する施設を地元で運営	91	22.8 %
道行く人への挨拶	79	19.8 %
（観光ボランティアガイドなど）地域の特徴や取り組みの紹介・情報発信等	70	17.5 %
地域の特徴的な景観・文化等の保存及び積極的な活用	47	11.8 %
地域の特徴や取り組みを学ぶ機会	46	11.5 %
地域の人と来訪者とのふれあいの場の創設	23	5.8 %
その他：	47	11.8 %

問17 今後の県の観光の活性化のため、地域の人々の「おもてなし」が重要になると感じますか(SA)

→ 7割以上が「とても思う」もしくは「多少思う」と回答

	n	(n=400)
とても思う	56	14.0 %
多少思う	238	59.5 %
あまり思わない	75	18.8 %
全く思わない	31	7.8 %

問18 観光の活性化に、地域の人々の「おもてなし」が重要になると思うのは、なぜですか(MA)

※問17で「とても思う」または「思う」を選んだ回答者へ質問。

→ 「良い印象を持ってもらえる」「来訪者増による経済活性化」「住みやすい街づくりへ繋がる」が上位

	n	(n=400)
地域に良い印象を持ってもらえるから	170	57.8 %
地域に来訪者が増え、経済的に活性化するから	131	44.6 %
おもてなしの心を持つことが、住みやすい街づくりにもつながるから	101	34.4 %
住民が、地域を良く理解することにより郷土愛が深まるから	61	20.7 %
住民が、おもてなしのために地域の事を学び、良く理解できるようになるから	55	18.7 %
観光ボランティア活動等により、住んでいる人の生きがいにつながるから	28	9.5 %
その他：	1	0.3 %

問19 観光の活性化のために、「おもてなし」としてどのような取り組みが重要だと思いますか(MA)

※問17で「とても思う」または「思う」を選んだ回答者へ質問。

→ 「地域の美化」「郷土食・特産品の開発や提供」「特徴的な景観・文化等の保存や活用」が上位

	n	(n=400)
地域の美化（歩道清掃、花壇等）	150	51.0 %
農作物など地域の産物を利用した郷土色や特産品の開発や提供	119	40.5 %
地域の特徴的な景観・文化等の保存及び積極的な活用	95	32.3 %
（観光ボランティアガイドなど）地域の特徴や取り組みの紹介・情報発信等	91	31.0 %
地域の農産物などを販売する施設を地元で運営	87	29.6 %
道行く人への挨拶	80	27.2 %
地域の特徴や取り組みを学ぶ機会	68	23.1 %
地域の人と来訪者とのふれあいの場の創設	42	14.3 %
その他：	6	2.0 %